

(様式2)

## 令和6年度 学校運営協議会自己評価表

### <本年度の目標>

- 学校運営の基本方針について更に理解を深め、子供たちのよりよい教育や学校生活のために学校・保護者・地域との連携を深める。
- 学校や地域の良さを深く知り、故郷を愛する心を育む活動（家康プロジェクト）について保護者や地域がより支援していく。

### <評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

#### 【しっかり熟議することができた】

- 校長より「こんな子供に育てたい」五本の柱を主にした基本方針の説明を受けた。校長のビジョンは十分理解でき、様々な視点から、活発に熟議することができた。
- 今年度の重点（具体的な取組）について、丁寧な説明があり理解を深めることができた。付箋を使い、出席者全員で「犬居小学校の素晴らしいところ」「課題と思われるところ」を出し合ったことにより、共通認識をもつことができ今後の方向性がより明確となった。

### <評価項目2> 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

#### 【しっかり熟議することができた】

- 学校運営の基本方針について熟議したことにより、活動内容と基本方針との関係が理解でき、学校からの要望について具体的な支援策を円滑に熟議することができた。
- 総合的な学習の時間の授業参観をしたことで、子供たちが取り組もうとしていることがよく分かり、地域・保護者・委員ができる支援について熟議することができた。
- 学校が求めるソフト面での支援・ハード面での支援など、協議会として十分話し合うことができ、具体的な支援活動ができた。

### <評価項目3> 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

#### 【十分情報発信を行った】

- 協議会の協議結果について、学校だよりやホームページで十分情報発信できている。地域に具体的な回覧(紙面)で発信することで、より支援が広がっていくのではないかと思う。
- 子供たちが地域行事に参加したことも大きな情報発信となった。

### <評価項目4> 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

#### 【来年度の目標】

- 学校運営の基本方針について更に理解を深め、子供たちのよりよい教育や学校生活のために学校・保護者・地域との連携を深める。
- 学校や地域の良さを深く知り、故郷を愛する心を育む活動（春野ドリームプロジェクト）について、保護者や地域との連携の方策を熟議し、支援していく。